

男子第三部

準決勝戦第1試合

大阪刑務所 A 2 - 0 近畿通関

(先鋒) 鈴木 康太郎 3段	反則勝	土井 隆司 3段
(中堅) 井手 保宏 3段	大外刈	原口 徳嗣 2段
(大将) 阿部 健太 4段	引分	吉田 憲生 4段

準決勝戦第2試合

中・軽量級の選手で構成した旭化成は、ここまで失点1で破竹の進軍を続け、大型選手中心の関西大学柔友会と決勝戦進出を賭けて対戦した。関西大学柔友会は、関西医療学園Aや徳島刑務所Aの並み居る強豪を下しての初のベスト4進出。

先鋒戦。右組み同士の両者、互いの組手争いが続くが、66kgの旭化成寺居の手数が勝り、守勢に回った関西大学柔友会の下川に1分過ぎに指導1。2分47秒には、寺居が得意の大内刈で技ありを奪い、旭化成が先制する。

中堅戦。続く中堅戦も、旭化成の新人齋藤が落ち着いた柔道を見せて、関西大学柔友会高橋に三角絞から入って、最後は崩袈裟固で仕留める。1分3秒ブザー。旭化成、早々と決勝戦進出を決める。

大将戦。73kg級の旭化成白井が130kgの関西大学柔友会の河原を翻弄し、54秒右背負投技あり、1分15秒に右体落で有効を奪い圧倒する。軽量級で固めた旭化成は、「柔能く剛を制する」柔道を見せ全勝で準決勝戦を通過する。

旭化成 3 - 0 関西大学柔友会

(先鋒) 寺居 高志 3段	⊖ 優勢勝	下川 真幸 2段
(中堅) 齋藤 涼 3段	崩袈裟固	高橋 寛明 3段

(大将) 白井 勇輝 4段 ⊖ 優勢勝 川原 良太 3段

決勝戦

決勝戦は、尻上がりに調子を上げて来た大阪刑務所 A が、中・軽量中心選手ながら強化選手を揃え、他を圧倒する強さで勝ち進んで来た旭化成に挑む構図。

先鋒戦。序盤、体重差 24 kg をものともせず、旭化成寺居は右でがっちり組み合う。技の出なくなった 1 分 37 秒、共に指導 1 を受ける。その後は組み手争いが始まり 2 分 30 秒両者指導 2。その後も両者決め手を欠いて引分。

中堅戦。73 kg 級の旭化成齋藤は、110 kg の大阪刑務所 A 井出に臆せず対峙し、開始 10 秒、井出が自ら仕掛けた内股が潰れ、伏せたところを後三角絞で攻めながら、裏返しにしてそのままの姿勢で崩上四方固に押え込む。開始 52 秒で一本勝。

大将戦。試合開始と同時に大阪刑務所 A 阿部の懐からタバコが落下。審判協議の結果、試合続行となる。

試合は 73 kg 級の白井が 90 kg 級の阿部を堂々組んで押し気味に進める。そして 1 分 7 秒、白井が片襟から低い右背負投で技ありを奪う。その後、上に乗って阿部の左腕を取り、腕がらみで攻めると、1 分 18 秒阿部は堪らず白井の背中を激しく叩く。白井、鮮やかな関節技の冴えを見せ、旭化成の 9 年ぶり 10 度目の第 3 部優勝に花を添える。

大阪刑務所 A 0 - 2 旭化成

(先鋒) 鈴木 康太郎 3段	引分	寺居 高志 3段
(中堅) 井手 保宏 3段	崩上四方固	齋藤 涼 3段
(大将) 阿部 健太 4段	腕がらみ	白井 勇輝 4段